

就職を目指す県内在住外国人を対象にした実践的な日本語講座が20日、徳島市のわーくびあ徳島で始まる。2014年度は無料になり、利用しやすくなった。主催する県労働者福祉協議会は、大勢の参加を呼び掛けている。

県労働者協

各講座12〜15人を募集。就職の意欲があれば、年齢、性別などは問わない。

20日からの第1弾は、ビジネススマナーを学ぶ「就職のための日本語講座」。来年3月までに順次、6講座を開講する。ほかに、介護に特化した会話を身に付ける「介護の日本語講座」、介護職員の資格取得を目的に、専門用語を重点的に習う「漢字学習講座」などを予定している。

県内在住外国人の支援活動をする市民団体「JTM

外国人向け日本語講座

実践的に 想定 職場 無料

とくしま日本語ネットワークのメンバーらが講師を担当。週1〜5回のカリキュラムが組まれ、集中的に学ぶことができる。希望に合った職場を想定し、具体的な会話方法や日本特有の習慣なども指導する。

県労働者福祉協が09年度から開く日本語講座は、13年度まで有料だった。14年度は国の助成金628万円を得た県の委託を受け、無料で開催できることになった。

問い合わせは、県労働者福祉協〈電088(025)80007〉。(乾栄里子)